

注3

大学番号：私004

[平成27年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

認可

日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学生支援グループ
職名・氏名	オカムラ セイイチロウ 岡村 誠一郎
電話番号	011-885-7711
（夜間）	011-885-7711
F A X	011-885-5757
e-mail	s_okamura@nihoniryo-c.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜リハビリテーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	30

＜リハビリテーション学科 理学療法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	37
3. 施設・設備の整備状況、経費	42
4. 既設大学等の状況	44
5. 教員組織の状況	45
6. 留意事項等に対する履行状況等	57
7. その他全般的事項	61

＜リハビリテーション学科 作業療法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	64
2. 授業科目の概要	68
3. 施設・設備の整備状況、経費	73
4. 既設大学等の状況	73
5. 教員組織の状況	76
6. 留意事項等に対する履行状況等	88
7. その他全般的事項	92

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号

(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳 昭 (平成5年4月)		
学 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)		
学 部 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公 美 (平成27年4月)	(27)設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 学士 (リハビリテーション学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4年	80人	-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-	-	80人	-	80人	-	80人	-	0.69倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	(-)	(-)	99人	-	145人	-	117人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	(-)	(-)	98人	-	140人	-	116人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	(-)	(-)	82人	-	101人	-	89人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	(-)	(-)	53人	-	69人	-	46人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	-	-	0.66倍	-	0.86倍	-	0.57倍	-		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 53人	[-] (-) -	[-] (1人) 70人	[-] (-) -	[-] (2人) 48人	[-] (-) -	
2年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 52人	[-] (-) -	[-] (3人) 69人	[-] (-) -	
3年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 48人	[-] (-) -	
4年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計	[-] (-) -	[-] (-) -			[-] (-) 53人	[-] (-) -	[-] (1人) 122人	[-] (-) -	[-] (5人) 165人

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人		-
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	53 人	2 人	平成27年度	人	人	一身上の都合(1人) 他の教育機関への入学(1人)	3.77 %
			平成28年度	2 人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	69 人	1 人	平成28年度	1 人	人	一身上の都合(1人)	1.44 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	46 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
合 計	168 人	3 人					1.78 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教 育 科 目	心理学	1前	1								兼1	
	発達心理学	1後		1							兼1	
	生物学	1前		2							兼1	
	物理学	1後-1前		2							兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	生活科学	1後		1							兼1	
	環境科学	1前		1							兼1	
	生活と運動	1後	1								兼1 兼2	教員追加 (28)
	健康とスポーツ	1後		1							兼1 兼2	教員追加 (28)
	統計学	1後		1							兼1	
	情報科学	1前	1								兼1	
	情報科学演習	1前		1					1			
	人間発達学	2後	2								兼1	
	倫理学	1前	1								兼1	
	生命倫理	1後	1								兼1	
	哲学	1後		1							兼1	
	論理学	1前		1							兼1	
	宗教と思想	2前		1							兼1	
	人間関係論	1後		1							兼1	
	文化人類学	1後		1							兼1	
	社会学	1後		1							兼1	
	音楽	2後		1							兼1	
	法学	1前		1							兼1	
	教育学	1前		1							兼1	
	北海道史	1前		1							兼1	
	ボランティア活動	2後		1							兼1	
	日本語表現	1前	1								兼1	
	英語 I	1前	1								兼1	
	英語 II	1後	1								兼1	
英語 III	2前		1							兼1		
英語 IV	3前		1							兼1		
中国語	1後		1							兼1		
韓国語	2前		1							兼1		
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4								兼1	
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2				1	2			兼1	27年1月教員審査済 教員追加(28) [担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可]
	解剖学演習(神経)	1後	1								兼1	
	体表解剖学	1前	1				1		1		兼1 0	教員追加(28) [担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可]
	機能解剖学	1後	1				1				兼1	27年1月教員審査済 担当教員を変更するため、担当科目追加(29) 担当 松田 智恵(講師) H29.03変更書提出済
	生理学	1前	4								兼1	
	生理学演習	2前	1			1		1			兼1	27年1月教員審査済
	運動学	2前	4				1				兼1	
	運動学演習	2後	1			1			3		兼1	
	病理学	1後 1前 1後	2								兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更 担当教員の都合により、配当学期を変更(28)
	栄養学	1前		2							兼1	
	臨床心理学	2前		2							兼1	

専 門 基 礎 教 育 科 目	カウンセリング論	2後		2							兼1		
	教育心理学	2前		2							兼1		
	内科学	2前 2後	2								兼1	学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)	
	整形外科学	2前	2								兼1		
	神経内科学	2前	2								兼1		
	精神医学	2後	2								兼1		
	小児科学	2前	1								兼1		
	障害学特論	2後		2							兼3		
	リハビリテーション論	1後	2		1								
	チーム医療論	3前	1			1					兼4		
	保健医療論	2後		1							兼1		
	社会福祉学	1後		1							兼1		
健康政策論	4後		1							兼3			
専	理学療法概論	1前		1							兼1		
	理学療法概論演習	1後		1							兼1		
	理学療法セミナーⅠ	1後		1			1					H27年3月教員審査中	
	理学療法セミナーⅡ	2後		1			1					H27年3月教員審査中	
	理学療法セミナーⅢ	3前		1			1					H27年3月教員審査中	
	作業療法概論	1前		1		1							
	作業療法概論演習	1後		1		1	1	1	1			教員変更 (28) 担当 八田達夫 (教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 八田 達夫 (教授) H28.06 教員審査済 判定 可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可	
	基礎作業学演習 (基礎作業分析)	1前		1			+ 0		1		兼2	兼3	教員追加 (28) 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 合田 央志 (助教) H29.03変更書提出済
	基礎作業学演習 (応用作業分析)	1後		1			+ 0		1		兼4	兼2	教員追加 (28) 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 清本 憲太 (助教) H29.03変更書提出済
	作業療法セミナーⅠ	1後		1			1						27年1月教員審査済 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H29.03変更書提出済
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1							
	作業療法セミナーⅢ	3前		1			1						
	理学療法評価学 (運動器系)	2通		1					1		兼1		教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	理学療法評価学演習 (運動器系)	2通		2						1	兼1		
	理学療法評価学 (神経系)	2通		1							兼2		
	理学療法評価学演習 (神経系)	2通		2							兼2		
	臨床判断学 (基礎編)	2後		1					1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床判断学 (応用編)	3後		1					1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	作業療法評価学	2前		1		1							
	作業療法評価学演習 (基礎評価)	2前		1						1	兼1		
作業療法評価学演習 (骨・関節系)	2前		1		1	1	1	1	1	兼1	教員変更 (28) 担当 坪田貞子 (教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 坪田 貞子 (教授) H28.06 教員審査済 判定 可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可		
作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	2後		2		+ 0	+ 2		2	2	兼1	教員変更 (28) 担当 大堀具視 (准教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 大堀 具視 (准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可		

門 教 育 科 目	作業療法評価学演習（中枢神経系）	2後	2			+	2	兼1	担当教員を変更するため、担当科目追加（29） 担当 清本 憲太（助教） H29.03変更書提出済
	運動療法学	2前	1	1					
	運動療法学演習	2後	1			1			H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定 可
	運動器障害理学療法学	3前	1	1					教員未定のため変更書提出予定 教員未定の補充として、担当科目追加（29） 担当 乾 公美（教授） H29.02 教員審査済 判定 可
	運動器障害理学療法学演習	3前	1					兼1	
	神経障害理学療法学	3前	1			1			
	神経障害理学療法学演習	3前	1			1			
	呼吸・循環器障害理学療法学	3前 3後	1	1		1			学習効果を高めるため、配当学期を変更（29）
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1					兼1 兼2	教員追加
	発達障害理学療法学	3後	1			1			H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定 可
	高齢期障害理学療法学	3後	1	1					
	物理療法学	3前	1	1				兼1	
	物理療法学演習	3前	1	1				兼1	
	義肢装具学	3前	1	1	1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加（28） 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可
	義肢装具学演習	3前	1	1	1	1			教員未定のため変更書提出予定 教員追加（28） 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可
	日常生活活動基礎学	3前	1			1			H27年3月教員審査中
	神経筋促通治療学	3前 3後	1	1					学習効果を高めるため、配当学期を変更（29）
	高次脳機能障害学	3後	1					兼1	
	徒手関節治療学	3後	1					兼1	
	スポーツ理学療法学	3後	1					兼1	
	身体障害作業治療学（中枢神経障害系）	3通	2		1				
	身体障害作業治療学（運動器・内部障害系）	3前	1	1				兼1	
	精神障害作業治療学	3通	2					兼1 3	非常勤講師変更・追加（29）
	発達障害作業治療学	3通	2	1					
	高齢期障害作業治療学	3通	2		1			兼1 0	非常勤講師が辞退したため、担当科目追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H29.02 教員審査済 判定 可
	高次脳機能障害作業治療学	3前	1					兼1	
	義肢装具作業療法学	3前 3後	1	1				兼1	学習効果を高めるため、配当学期を変更（29）
	義肢装具作業療法学演習	3前 3後	1	1				兼1	学習効果を高めるため、配当学期を変更（29）
	日常生活適応学（ADL）	3前	2		+	0	1		教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定 可
	日常生活適応学（動作分析）	3後	2			1			
	福祉用具学	3後	1	1					
就労支援作業療法学	3後	1	1						
作業療法治療学特論（治療理論）	3後	1					兼1		
作業療法治療学特論（シーティング）	3後	1	1						
作業療法治療学特論（ハンドセラピー）	3後	1	1				兼1 0	非常勤講師が辞退したため、担当科目追加（29） 担当 坪田 貞子（教授） H29.02 教員審査済 判定 可	
地域理学療法学	3前	1	1			1	兼2		
生活環境学	3後	1	1						
地域作業療法学	3前	1					兼1		
福祉住環境論	3後	1		0	1			27年1月教員審査済 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加（29） 担当 大堀 具規（准教授） H29.03変更書提出済	

専 門 教 育 科 目	臨床実習Ⅰ（理学療法）	2後	1	3	1	2	4	5	1	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当教員充実のため、担当科目追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.03変更書提出済	
	臨床実習Ⅱ（理学療法）	3後	3	3	2	3	5	2	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年2月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年2月教員審査済 判定可 H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定可		
	臨床実習Ⅲ（理学療法）	4前	16	3	2	3	5	2	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定可		
	臨床実習Ⅰ（作業療法）	2後	2	3	2	0	1	2	1	27年1月教員審査済 教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定可 担当教員充実のため、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済 担当教員充実のため、担当科目追加（29） 担当 清本 憲太（助教） H29.03変更書提出済	
	臨床実習Ⅱ（作業療法）	3後	3	3	3	2	0	1	2	27年1月教員審査済（27） 教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定可	
	臨床実習Ⅲ（作業療法）	4前	16	3	2	0	1	2	1	27年1月教員審査済 教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定可	
	リハビリテーション管理学	4後	1	1	1	1					
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1							兼1	
	応急処置法	3前	1							兼1	
	軟部組織治療学	3前	1							兼2	
	ウィメンズヘルスケア論	3前	1							兼2	
	災害リハビリテーション	3前	1								
	地域リハビリテーション学	2前	1		1					27年1月教員審査済 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済	
地域リハビリテーション学演習	2前	1							兼2		
研究法	3前	1		1							
卒業研究Ⅰ	3後	1		6	5	1	2	2	3	5	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定可 H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定可

卒業研究Ⅱ	4通	2		6	5	1	2	2	3	5		27年1月教員審査済 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定可 H29.03 樋室伸顕講師 就任辞退 (29) 樋室伸顕講師の後任として、教員追加 (29) 担当 松田 智恵 (講師) H29.02 教員審査済 判定可
-------	----	---	--	---	---	---	---	---	---	---	--	--

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地) 運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり			
	校舎敷地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡				
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡				
	小 計	43,541㎡ 22,596㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡				
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡				
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡				
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)			
		16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡ (5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡ (16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)				
(3)	教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		11室	11室	10室	1室 (補助職員0人)	情報処理室と共用 (補助職員0人)			
(4)	専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
		保健医療学部 リハビリテーション学科			15 室				
(5)	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変更あり (28)図書、学術雑誌、 変更あり (29)図書、学術雑誌 (総冊数から種に変更)、 機械・器具に変更あり	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	点	点	点		
		冊	種	〔うち外国書〕					
		保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,484[172]) (-8,789[170]) (-8,345[163]) (-8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [-653] (145[40]) (-2,158[695]) (-2,006[646]) (-1,966 [-633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (-961) (-960)		30 (32) (-30)
計	9,140 [237] (8,484[172]) (-8,789[170]) (-8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [-653] (145[40]) (-2,158[695]) (-2,006[646]) (-1,966 [-633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (-960)	30 (32) (-30)			
(6)	図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		206.61㎡	50席	14,640冊					
(7)	体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		556.1㎡	テニスコート1面						
(8)	経費の見積り及び 経費の見積り及び	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(27)経費の見積り及び 資金計画の一部変更
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 10,102千円	3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 33,438千円	3,383千円 2,000千円	2,000千円	

維持方法 の概要	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	理学と作業の合算
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.69	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.94	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.44	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.05	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	該当なし

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授(学長)	デンノ リウイチ 傳野 隆一	平成27年4月	保健医療論 チーム医療論	兼任	教授(学長)	デンノ リウイチ 傳野 隆一	平成27年4月	チーム医療論	
					兼任	教授	シモト カズキ 島本 和明	平成28年4月	保健医療論 内科学	担当教員変更(兼任)(28) 内科学 担当教員変更(兼任) (29)
専	教授	イシキ ミユコ 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授(学長)	イシキ ミユコ 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害理学療法学	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。 (29)平成29年2月 乾公美 A C 教員審査済 ・運動器障害理学療法学 可
専	教授	カハシ ミツコ 高橋 光彦	平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サウジ ヒロキ 佐藤 秀紀	平成27年4月	リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	ツバタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ツバタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	(29)平成28年6月 坪田貞子 A C 教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系) 可 (29)平成29年2月 坪田貞子 A C 教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー) 可

専	教授	ツバタ ヲウジ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	専	教授	ツバタ ヲウジ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系)可 (29)平成29年2月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー)可																						
											専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 八田達夫AC教員審査済 ・作業療法概論演習可											
																						専	准教授	マツカミ トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	専	准教授	マツカミ トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 大堀具視AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(神経・筋力系)可 (29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・福祉住環境論 ・地域リハビリテーション学 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	(29)平成28年6月 八田達夫AC教員審査済 ・作業療法概論演習可																						

専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学	専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学	(27)採用予定年月を1年早めた (29)平成28年6月 大堀具視AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(神経・筋 力系)可 (29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・福祉住環境論 ・地域リハビリテーション学 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	ハヤカ 早川 ヒロ 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み (29)平成29年3月 早川宏子准教授 退職
					専	助教	ゴウカ 合田 ヒロ 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎 作業分析)	(29)平成29年3月 合田央志変更書提出済 ・基礎作業学演習(基礎作業分 析)
				基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	助教	キヨミ 清本 ケン 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(29)平成29年3月 清本憲太変更書提出済 ・基礎作業学演習(応用作業分 析) ・作業療法評価学演習(中枢神経 系) ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	キカミ 岸上 ヒロシ 博俊	平成29年4月	作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活適応学(ADL) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 高年齢障害作業治療学 作業療法セミナーⅠ	(29)平成28年8月 岸上博俊AC教員審査済 ・作業療法概論演習可 ・作業療法評価学演習(骨・関節 系)可 ・作業療法評価学演習(神経・筋 力系)可 ・日常生活適応学(ADL)可 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)可 ・臨床実習Ⅱ(作業療法)可 ・臨床実習Ⅲ(作業療法)可 ・卒業研究Ⅰ可 (29)平成29年2月 岸上博俊AC教員審査済 ・高年齢障害作業治療学可 (29)平成29年3月 岸上博俊変更書提出済 ・作業療法セミナーⅠ
					専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成28年4月	地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論	(29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・地域リハビリテーション学 ・福祉住環境論
専	講師	イハシ 石橋 アキト 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	講師	イハシ 石橋 アキト 晃仁	平成27年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提出 (審査中)

専	講師	ヒロノブ 樋室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	マツダ 智恵 松田 智恵	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 機能解剖学 臨床実習Ⅰ	(29)平成29年2月 松田智恵AC教員審査済 ・運動療法学演習 可 ・発達障害理学療法 可 ・臨床実習Ⅱ(理学療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(理学療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 ・卒業研究Ⅱ 可 (29)平成29年3月 松田智恵変更書提出済 ・機能解剖学 ・臨床実習Ⅰ
兼任	講師	ヒロノブ 樋室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習	専	講師	マツダ 智恵 松田 智恵	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 機能解剖学 臨床実習Ⅰ	(29)平成29年2月 松田智恵AC教員審査済 ・運動療法学演習 可 ・発達障害理学療法 可 ・臨床実習Ⅱ(理学療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(理学療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 ・卒業研究Ⅱ 可 (29)平成29年3月 松田智恵変更書提出済 ・機能解剖学 ・臨床実習Ⅰ
				解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	キヨタ 直恵 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
				解剖学演習(骨・筋) 体表解剖学 理学療法評価学(運動器系) 臨床判断学(基礎編) 臨床判断学(応用編) 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	向井 康詞	平成28年4月	解剖学演習(骨・筋) 体表解剖学 理学療法評価学(運動器系) 臨床判断学(基礎編) 臨床判断学(応用編) 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H28年1月教員審査済み(28)
				義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	西山 徹	平成28年4月	義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H28年1月教員審査済み(28)
専	助教	シカゲ 深 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シカゲ 深 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習	専	助教	シカゲ 深 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 情報科学演習	(29)専任教員へ変更
専	助教	キハラ 由里子 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習						変更なし
専	助教	ゴウカ 央志 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)	専	助教	ゴウカ 央志 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎 作業分析)	(29)平成29年3月 合田央志変更書提出済 ・基礎作業学演習(基礎作業分 析)
専	助教	キヨモト 憲太 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習	専	助教	キヨモト 憲太 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(29)平成29年3月 清本憲太変更書提出済 ・基礎作業学演習(応用作業分 析) ・作業療法評価学演習(中枢神経 系) ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
兼任	講師	キヨモト 憲太 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習	専	講師	キヨモト 憲太 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習	(29)専任教員へ変更

兼任	教授	オホノ イノ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼任	教授	カガト 賀来 亨	平成28年4月	小児科学	担当教員変更(兼任)
兼任	教授	モリ マコ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学						変更なし
兼任	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学						変更なし
兼任	准教授	モリガチ マイ 森口 真衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理						変更なし
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語						変更なし
兼任	講師	オホノ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論						変更なし
兼任	講師	サシガキ ナホ 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)						変更なし
兼任	講師	シメヅ カル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法						変更なし
兼任	講師	カガチ トモヤス 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)						変更なし
兼任	講師	シノガハ ヨシヒコ 渋川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)						変更なし
兼任	講師	ヤマガチ カズキ 山口 和之	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	アサキ アツシ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	ハクハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション						変更なし
兼任	講師	スキモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	カガチ シゲヒコ 岡田 しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習						変更なし
兼任	講師	コガマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法						変更なし
兼任	講師	ハマモト タツノ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法						変更なし
兼任	講師	カガチ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学	兼任	講師	カガチ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学 基礎作業学演習(基礎作業分析) 基礎作業学演習(応用作業分析)	担当科目追加(兼任)(28) 担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	イノガチ ナガム 池田 望	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	カガチ ヒトシ 河野 仁志	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	モリモト タカフミ 森本 隆文	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習(基礎評価) 作業療法評価学演習(中枢神経系)						変更なし
兼任	講師	スキモト ナリコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用作業分析) 地域作業療法						変更なし
兼任	講師	イノガチ タケヒロ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系)						変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	カガチ マサル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	ヤマダ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)						変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学	兼任	講師	一瀬 信敏	平成28年4月	生理学	担当教員変更(兼任)(28)

兼任	講師	イトビ ミチ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想						変更なし
兼任	講師	カハヤシ ヒロ 中林 秀和	平成27年4月	生物学						変更なし
兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学	兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学	生活科学と情報科学の担当教員を 変更した。(29)
					兼任	講師	ミヤケリ ヨシ 宮森 芳子	平成29年4月	生活科学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	情報科学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	イシダ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論					変更なし	
兼任	講師	チバ タカ 千葉 卓	平成27年4月	法学						変更なし
兼任	講師	サキハラ ユカ 萩原 裕子	平成27年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	変更なし
					兼任	講師	橋本めぐみ	平成28年4月	生活と運動 健康とスポーツ	担当教員追加(兼任)(28)
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学						変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	ツチハシ ケイ 土橋 恵	平成29年4月	病理学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	オガタ ケイコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学						変更なし
兼任	講師	コンドウ フミエ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学	兼任	教授	シマモト カズキ 島本 和明	平成29年4月	保健医療論 内科学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ヤマモト ヤス 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法 演習 スポーツ理学療法						変更なし
兼任	講師	ハス シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤコ ムネル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コベラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサノ ユカ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オニヅカ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法	兼任	講師	ホンドウ ノブヒロ 本道 伸弘	平成29年4月	義肢装具作業療法	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	モリヤ キン 森谷 梨	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロユキ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシ 今井 由恵	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史	兼任	講師	ハマクチ ユウスケ 濱口 裕介	平成29年4月	北海道史	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い

兼任	講師	ゼフ・ブルックリン	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	デビッド・フルナー	平成27年4月	英語Ⅱ	担当教員変更（兼任）
兼任	講師	アキラ 赤間 ソウタ 庄太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アキラ 赤間 ソウタ 庄太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	私 金 チャンキン 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジタ マサブ 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論 (行動分析)	専	教授	ソウタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	(29)平成28年6月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系) 可 (29)平成29年2月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー) 可
兼任	講師	イダ ヒロ 池田 官司	平成28年4月	精神医学						変更なし
兼任	講師	カキ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	カキ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法学	担当教員変更（兼任） (29) 高齢期障害作業療法学、担当教員変更（専任）
兼任	講師	サンミ コウ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)						変更なし
兼任	講師	セリタ カル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法	兼任	講師	セリタ コウ 芹田 洋子	平成29年4月	応急処置法	担当教員追加（兼任）(29)
兼任	講師	クノ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※						変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウヘイ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論						変更なし
兼任	講師	ヨコグシ カズト 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学	兼任	講師	佐々木 浩一	平成28年4月	整形外科学	担当教員変更（兼任）(28)
兼任	講師	スギ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学	兼任	講師	サイトウ マサキ 齊藤 正樹	平成28年4月	神経内科学	担当教員変更（兼任）(28) 担当教員年齢修正(29)
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤト シゲノリ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学	担当教員変更（兼任）
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	カイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学	担当教員変更（兼任）
兼任	講師			代謝・免疫系障害学療法学	兼任	講師	カウ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害学療法学	担当教員追加（兼任）
				運動器障害学療法学	専	教授 (学部長)	イノ キミル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害学療法学	科目開設時までに変更書提出予定 (28) (29)平成29年2月 乾公美AC教員審査済 ・運動器障害学療法学 可

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度

() 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	5人	4人	16人	5人	2人	5人	4人	16人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)						[△1人]	[1人]	[3人]	[0人]	[3人]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	講師	榑室 伸頭	選択	運動療法学演習	①	[Redacted]	
			選択	発達障害理学療法学	①		
			選択	臨床実習Ⅱ(理学療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅲ(理学療法)	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	澤田 雄二	選択	作業療法学概論演習	①	[Redacted]	
			選択	作業療法評価学演習（骨・関節系）	①		
			選択	作業療法評価学演習（神経・筋力系）	①		
			選択	日常生活適応学（ADL）	①		
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
2	准教授	早川 宏子	選択	基礎作業学演習（基礎作業分析）	①	[Redacted]	
			選択	基礎作業学演習（応用作業分析）	①		
			選択	作業療法セミナーⅠ	①		
			必修	運動学演習	①		
			必修	地域リハビリテーション学	①		
			選択	福祉住環境論	①		
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3 人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
	選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	26	科目	計	26	科目	計	0	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	<p>・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。</p>	留意事項	<p>(27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必須・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。</p> <p>(28) 27年度と同様の対応を行った。</p> <p>(29) 28年度と同様の対応を行った。</p>
	<p>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	留意事項	<p>(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グラウンド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。</p> <p>(28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める</p> <p>(29) 28年度と同様に対応した。</p>
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	留意事項	<p>(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。</p> <p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p>

	<p>・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までには教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>(27)32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目については、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。</p> <p>(28)未配置科目6科目中、5科目については、1月の教員審査で既に承認を得ている。残りの1科目については開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。</p> <p>(29)全ての科目について、専任教員を配置済。</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (28年2月)</p>	<p>保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>(28)平成28年1月12日の執行役員会において「学生募集対策本部」の設置を決議した。</p> <p>○設置の目的 専門学校から大学に改組したにもかかわらず入学定員が充足していない。28年度においても定員充足については極めて厳しい状況にある。 質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。</p> <p>○メンバー [本部長]理事長 [副本部長]学長 [看護学科担当]学科長 [リハビリテーション学科担当]学科長 [診療放射線学科担当]学科長 [大学事務局]事務局長、広報担当係員2人</p> <p>(29)引き続き学生募集対策委員会において、学生確保に努める。</p>	<p>学生募集対策委員会会議は、過去6回(1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18)開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。</p> <p>○検討事項 1 学生の確保に関する事項 ①学生確保に関する基本方針に関する事項 ②学生募集要項に関する事項 ③学生募集に関わる調査及び研究等に関する事項 ④その他学生の確保に関する事項 2 広報に関する事項 ①学生募集に係る広報活動に関する事項 ②各種メディアを利用した広報活動に関する事項 ③ホームページの企画及び作成に関する事項 ④大学案内等の企画及び作成に関する事項 ⑤その他の広報活動に関する事項 3 適正な入学定員に関する事項</p>

	<p>保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p>	<p>(28) 今回、リハビリテーション学科設置に伴う定年延長の特別措置は、あくまでも例外的な措置であり、定年年齢(65)を超えて採用した専任教員(以下A教員という。)及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員(以下B教員という。)については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。 上記特別措置の該当教員については、A教員の該当者は4人、B教員の該当者は2人いる。特例期間が満了する前に教員を補充する計画であり、任用に当たっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。</p>																																																
設置計画履行状況調査時(29年2月)	<p>保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。(職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在)</p> <table border="1" data-bbox="699 891 1142 1238"> <thead> <tr> <th></th> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>40～49</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>50～59</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>60～64</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>65～69</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>教員組織編製の将来構想は、退職する教授の後任には、教員任用規程に基づき学内の准教授を教授に昇任するほか、年齢構成を考慮し、50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また、今後も、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。</p>		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			3	2	5	40～49		1		2	3	50～59		1	2		3	60～64	1				1	65～69	3				3	70以上	1				1	計	5	2	5	4	16	
	教授	准教授	講師	助教	計																																															
30～39			3	2	5																																															
40～49		1		2	3																																															
50～59		1	2		3																																															
60～64	1				1																																															
65～69	3				3																																															
70以上	1				1																																															
計	5	2	5	4	16																																															

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・一般入学試験 ・推薦入学試験 	① 平成29年度入学試験（平成29年4月入学生）はA0入学試験を2回実施。 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）については、A0入学試験を1回実施予定。 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、大学入試センター試験利用入学試験を実施予定

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <ul style="list-style-type: none"> ・第1回FD委員会 平成28年 4月27日（教員8人、事務職員1人） ・第2回FD委員会 平成28年 6月 8日（教員8人、事務職員1人） ・第3回FD委員会 平成29年 1月10日（教員8人、事務職員1人） ・第4回FD委員会 平成29年 1月25日（教員8人、事務職員1人） c 委員会の審議事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会の今年度の活動計画について ・授業評価アンケートについて ・FD研修会について ・次年度の活動と予算（案） ② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 学生による授業評価アンケートの改訂 <ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式の見直しを行なった。 ② 学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修—選択科目集計表・基礎教育—専門基礎教育—専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。 各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。次年度より、各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらうことが話し合われた。さらに、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつなげることが決定された。

③ 教育課程の検討

・看護学科は2年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2018年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いが行われた。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。

④ 教員研修会の実施、授業方法の開発

教員研修会に関しては、平成28年度は各教員の研究活動に関わる企画を据えた。研究活動はFD委員会の主目的である教育課程・体制の開発向上や教育方法の向上とも間接的につながるものであり、研究の充実が学生に提供する講義内容、教育方法の向上とも連動することから、シリーズ1として、研究倫理に関する学習会、シリーズ2としてアクティブ・ラーニングに関する学習会を実施した。

研究倫理については、ここ近年、研究者に倫理意識の向上が求められており、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が出され、大学教員に対し研究倫理に関する講義の受講が義務付けられていることから、研究倫理委員会との合同企画としてシリーズ1を実施した。

・シリーズ1：平成28年8月31日（水）

第1部 研究倫理教育 13：30～15：00

札幌医科大学 医学部知的財産管理学 石埜正穂教授

「責任ある研究活動への取り組み」-研究活動における不正行為について-

第2部 コンプライアンス教育 15：10～16：10

本学リハビリテーション学科学科長 乾 公美教授

-本学における競争的資金等の適正な執行について-

・シリーズ2：平成28年9月6日（水）14：00～16：00

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研修センター

山本 堅一 特任准教授

「アクティブ・ラーニングについて」

参加者は公務で不在の教員を除き、2回とも全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。

b 実施方法

・上記の実施内容に沿って適切に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成29年度（前期・後期）は、専任教員科目については学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・学期毎に実施 前期7～8月 後期1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分：9月 後期分：翌年度の4月

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成28年度が開設3年目、リハビリテーション学科は開設2年目、診療放射線学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めていく方針である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・日本医療大学年報第2号（平成28年度）を、自己点検・評価報告書に代えて平成29年度下期に公表予定。

b 公表方法

- ・本学ホームページに公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（日本高等教育評価機構）評価を受けるべく、準備中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(29年 8月)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号

(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公美 (平成27年4月)	(27)設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 学士 (リハビリテーション学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4年	40人	-	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成26年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-	-	40人	-	40人	人	40人	-	0.94倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	(-)	(-)	77人	-	100人	-	86人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	(-)	(-)	76人	-	95人	-	85人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	(-)	(-)	58人	-	62人	-	61人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	(-)	(-)	38人	-	43人	-	33人	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	-	-	0.95倍		1.07倍		0.82倍			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 38人	[-] (-) -	[-] (1人) 44人	[-] (-) -	[-] (2人) 35人	[-] (-) -	
2年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 37人	[-] (-) -	[-] (2人) 43人	[-] (-) -	
3年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 34人	[-] (-) -	
4年次	/		/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
計	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 38人	[-] (-) -	[-] (1人) 81人	[-] (-) -	[-] (4人) 112人	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	-	-	平成26年度	- 人	- 人		-
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	38 人	2 人	平成27年度	人	人	一身上の都合(1人) 他の教育機関への入学(1人)	5.26 %
			平成28年度	2 人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	43 人	0 人	平成28年度	0 人	人		0.00 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	33 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
合 計	114 人	2 人					1.75 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教 育 科 目	心理学	1前	1								兼1	
	発達心理学	1後		1							兼1	
	生物学	1前		2							兼1	
	物理学	1後-1前		2							兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	生活科学	1後		1							兼1	
	環境科学	1前		1							兼1	
	生活と運動	1後	1								兼1 兼2	教員追加 (28)
	健康とスポーツ	1後		1							兼1 兼2	教員追加 (28)
	統計学	1後		1							兼1	
	情報科学	1前		1							兼1	
	情報科学演習	1前		1					1			
	人間発達学	2後	2								兼1	
	倫理学	1前		1							兼1	
	生命倫理	1後		1							兼1	
	哲学	1後		1							兼1	
	論理学	1前		1							兼1	
	宗教と思想	2前		1							兼1	
	人間関係論	1後		1							兼1	
	文化人類学	1後		1							兼1	
	社会学	1後		1							兼1	
	音楽	2後		1							兼1	
	法学	1前		1							兼1	
	教育学	1前		1							兼1	
	北海道史	1前		1							兼1	
	ボランティア活動	2後		1							兼1	
	日本語表現	1前		1							兼1	
	英語 I	1前		1							兼1	
	英語 II	1後		1							兼1	
英語 III	2前		1							兼1		
英語 IV	3前		1							兼1		
中国語	1後		1							兼1		
韓国語	2前		1							兼1		
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4								兼1	
	解剖学演習 (骨・筋)	1前	2				1	2			兼1	27年1月教員審査済 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	解剖学演習 (神経)	1後	1								兼1	
	体表解剖学	1前	1				1		1		兼1 0	教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	機能解剖学	1後	1				1				兼1	27年1月教員審査済 担当教員を変更するため、担当科目追加 (29) 担当 松田 智恵 (講師) H29.03変更書提出済
	生理学	1前	4								兼1	
	生理学演習	2前	1			1		1			兼1	27年1月教員審査済
	運動学	2前	4				1				兼1	
	運動学演習	2後	1			1			3		兼1	
	病理学	1後 1前 1後	2								兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更 担当教員の都合により、配当学期を変更 (28)
	栄養学	1前		2							兼1	
	臨床心理学	2前		2							兼1	

専門基礎教育科目	カウンセリング論	2後		2						兼1	
	教育心理学	2前		2						兼1	
	内科学	2前 2後	2							兼1	学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)
	整形外科学	2前	2							兼1	
	神経内科学	2前	2							兼1	
	精神医学	2後	2							兼1	
	小児科学	2前	1							兼1	
	障害学特論	2後		2						兼3	
	リハビリテーション論	1後	2			1					
	チーム医療論	3前	1			1				兼4	
専門教育科目	保健医療論	2後		1						兼1	
	社会福祉学	1後		1						兼1	
	健康政策論	4後		1						兼3	
	理学療法概論	1前		1						兼1	
	理学療法概論演習	1後		1						兼1	
	理学療法セミナーⅠ	1後		1			1				H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅡ	2後		1			1				H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅢ	3前		1			1				H27年3月教員審査中
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1			1			兼1	教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2			1			兼1	
	理学療法評価学(神経系)	2通		1						兼2	
	理学療法評価学演習(神経系)	2通		2						兼2	
	臨床判断学(基礎編)	2後		1			1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床判断学(応用編)	3後		1			1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	運動療法学	2前		1		1					
	運動療法学演習	2後		1			1				H29.03 種室伸顕講師 就任辞退 (29) 種室伸顕講師の後任として、教員追加 (29) 担当 松田 智恵 (講師) H29.02 教員審査済 判定可
	運動器障害理学療法学	3前		1		1					教員未定のため変更書提出予定 教員未定の補充として、担当科目追加 (29) 担当 乾 公美 (教授) H29.02 教員審査済 判定可
	運動器障害理学療法学演習	3前		1						兼1	
	神経障害理学療法学	3前		1			1				
	神経障害理学療法学演習	3前		1			1				
	呼吸・循環器障害理学療法学	3前 3後		1		1					学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前		1						兼1 兼2	教員追加
	発達障害理学療法学	3後		1			1				H29.03 種室伸顕講師 就任辞退 (29) 種室伸顕講師の後任として、教員追加 (29) 担当 松田 智恵 (講師) H29.02 教員審査済 判定可
	高齢期障害理学療法学	3後		1		1					
	物理療法学	3前		1		1				兼1	
	物理療法学演習	3前		1		1				兼1	
	義肢装具学	3前		1		1	1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 西山徹 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	義肢装具学演習	3前		1		1	1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28) 担当 西山徹 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	日常生活活動基礎学	3前		1			1				H27年3月教員審査中
	神経筋促通治療学	3前 3後		1		1					学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)
	高次脳機能障害学	3後		1						兼1	
	徒手関節治療学	3後		1						兼1	
スポーツ理学療法学	3後		1						兼1		
地域理学療法学	3前		1		1			1	兼2		
生活環境学	3後		1		1						
地域作業療法学	3前		1						兼1		

	福祉住環境論	3後	1		0	1				27年1月教員審査済
	臨床実習Ⅰ（理学療法）	2後	1	3		1	2	4	1	早川宏子准教授の後任として、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済
	臨床実習Ⅱ（理学療法）	3後	3	3		2	3	5	2	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当教員充実のため、担当科目追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.03変更書提出済
	臨床実習Ⅲ（理学療法）	4前	16	3		2	3	5	2	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年2月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年2月教員審査済 判定可 H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定可
専 門 教 育 科 目	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1				
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1							兼1
	応急処置法	3前	1							兼1 2 担当教員追加（29）
	軟部組織治療学	3前	1							兼1
	ウィメンズヘルスケア論	3前	1							兼2
	災害リハビリテーション	3前	1							兼2
	地域リハビリテーション学	2前	1		1					27年1月教員審査済
	地域リハビリテーション学演習	2前	1						1	早川宏子准教授の後任として、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済
	研究法	3前	1	1						兼2
	卒業研究Ⅰ	3後	1	6	5	1	2	2	3	5
卒業研究Ⅱ	4通	2	6	5	1	2	2	3	5	27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定可 H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定可

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地) 運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり			
	校舎敷地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡				
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡				
	小 計	43,541㎡ 22,596㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡				
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡				
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡				
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)			
		16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡ (5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡ (16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)				
(3)	教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		11室	11室	10室	1室 (補助職員0人)	情報処理室と共用 (補助職員0人)			
(4)	専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
		保健医療学部 リハビリテーション学科		15 室					
(5)	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変更あり (28)図書、学術雑誌、 変更あり (29)図書、学術雑誌 (総冊数から種に変更)、 機械・器具に変更あり	
		[うち外国書]	[うち外国書]						[うち外国書]
		冊	種	点	点	点			
		保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,484[172]) (-8,789[170]) (-8,345[163]) (-8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [-653] (145[40]) (-2,158[695]) (-2,006[646]) (-1,966 [-633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (961) (960)		30 (32) (30)
計	9,140 [237] (8,484[172]) (-8,789[170]) (-8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [-653] (145[40]) (-2,158[695]) (-1,966 [-633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (960)	30 (32) (30)			
(6)	図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		206.61㎡	50席	14,640冊					
(7)	体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		556.1㎡	テニスコート1面						
(8)	経費の見積り及び 経費の見積り及び	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(27)経費の見積り及び 資金計画の一部変更
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 10,102千円	3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 33,438千円	3,383千円 2,000千円	2,000千円	

維持方法 の概要	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	理学と作業の合算
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.69	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.94	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.44	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.05	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	該当なし

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授(学長)	テンノ リウイ 傳野 隆一	平成27年4月	保健医療論 チーム医療論	兼任	教授(学長)	テンノ リウイ 傳野 隆一	平成27年4月	チーム医療論	
					兼任	教授	シマト カズキ 島本 和明	平成28年4月	保健医療論 内科学	担当教員変更(兼任)(28) 内科学 担当教員変更(兼任) (29)
専	教授	イシキ ミサル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授(学長)	イシキ ミサル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害理学療法学	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。 (29)平成29年2月 乾公美A C教員審査済 ・運動器障害理学療法学 可
専	教授	カハミ ミツコ 高橋 光彦	平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サウジ ヒロキ 佐藤 秀紀	平成27年4月	リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	ツバタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ツバタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	(29)平成28年6月 坪田貞子A C教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系) 可 (29)平成29年2月 坪田貞子A C教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー) 可

専	教授	ツバタ ヲウジ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	専	教授	ツバタ ヲウジ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系)可 (29)平成29年2月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー)可
					専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 八田達夫AC教員審査済 ・作業療法概論演習可
					専	准教授	マツダ トモ 大塚 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 大塚具視AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(神経・筋力系)可 (29)平成29年3月 大塚具視変更書提出済 ・福祉住環境論 ・地域リハビリテーション学 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	カサミ ヒロシ 岸上 博俊	平成29年4月	作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活応用学(A D L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 高齢期障害作業治療学 作業療法セミナーⅠ	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年8月 岸上博俊AC教員審査済 ・作業療法概論演習可 ・作業療法評価学演習(骨・関節系)可 ・作業療法評価学演習(神経・筋力系)可 ・日常生活応用学(A D L)可 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)可 ・臨床実習Ⅱ(作業療法)可 ・臨床実習Ⅲ(作業療法)可 ・卒業研究Ⅰ可 ・卒業研究Ⅱ可 (29)平成29年2月 岸上博俊AC教員審査済 ・高齢期障害作業治療学可 (29)平成29年3月 岸上博俊変更書提出済 ・作業療法セミナーⅠ
専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	(29)平成28年6月 八田達夫AC教員審査済 ・作業療法概論演習可

専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーショ ン学 臨床実習Ⅰ(作業療 法)	(27)採用予定年月を1年早めた (29)平成28年6月 大堀具視 A C 教員審査済 ・作業療法評価学演習(神経・筋 力系) 可 (29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・福祉住環境論 ・地域リハビリテーション学 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	ハヤカ 早川 ヒロ 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み (29)平成29年3月 早川宏子准教授 退職
					専	助教	ゴウカ 合田 ヒロ 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎 作業分析)	(29)平成29年3月 合田央志変更書提出済 ・基礎作業学演習(基礎作業分 析)
				基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	助教	キヨミ 清本 ケン 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(29)平成29年3月 清本憲太変更書提出済 ・基礎作業学演習(応用作業分 析) ・作業療法評価学演習(中枢神経 系) ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	キカミ 岸上 ヒロシ 博俊	平成29年4月	作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活適応学(A D L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 高年齢障害作業治療学 作業療法セミナーⅠ	(29)平成28年8月 岸上博俊 A C 教員審査済 ・作業療法概論演習 可 ・作業療法評価学演習(骨・関節 系) 可 ・作業療法評価学演習(神経・筋 力系) 可 ・日常生活適応学(A D L) 可 ・臨床実習Ⅰ(作業療法) 可 ・臨床実習Ⅱ(作業療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(作業療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 (29)平成29年2月 岸上博俊 A C 教員審査済 ・高年齢障害作業治療学 可 (29)平成29年3月 岸上博俊変更書提出済 ・作業療法セミナーⅠ
					専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成28年4月	地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論	(29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・地域リハビリテーション学 ・福祉住環境論
専	講師	イハシ 石橋 アキト 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	講師	イハシ 石橋 アキト 晃仁	平成27年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提出 (審査中)

専	講師	ヒロキ 木室 伸頭	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	マツダ 智恵 松田	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 機能解剖学 臨床実習Ⅰ	(29)平成29年2月 松田智恵AC教員審査済 ・運動療法学演習 可 ・発達障害理学療法 可 ・臨床実習Ⅱ(理学療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(理学療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 ・卒業研究Ⅱ 可 (29)平成29年3月 松田智恵変更書提出済 ・機能解剖学 ・臨床実習Ⅰ
兼任	講師	ヒロキ 木室 伸頭	平成28年4月	運動療法学演習	専	講師	マツダ 智恵 松田	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 機能解剖学 臨床実習Ⅰ	(29)平成29年2月 松田智恵AC教員審査済 ・運動療法学演習 可 ・発達障害理学療法 可 ・臨床実習Ⅱ(理学療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(理学療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 ・卒業研究Ⅱ 可 (29)平成29年3月 松田智恵変更書提出済 ・機能解剖学 ・臨床実習Ⅰ
				解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	キヨタ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
				解剖学演習(骨・筋) 体表解剖学 理学療法評価学(運動器系) 臨床判断学(基礎編) 臨床判断学(応用編) 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	向井 康詞	平成28年4月	解剖学演習(骨・筋) 体表解剖学 理学療法評価学(運動器系) 臨床判断学(基礎編) 臨床判断学(応用編) 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H28年1月教員審査済み(28)
				義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	西山 徹	平成28年4月	義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H28年1月教員審査済み(28)
専	助教	シロイ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シロイ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習	専	助教	シロイ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 情報科学演習	(29)専任教員へ変更
専	助教	キハラ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習(運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習						変更なし
専	助教	ゴウカ 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習(基礎評価) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 作業療法評価学演習(中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)	専	助教	ゴウカ 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習(基礎評価) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 作業療法評価学演習(中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎作業分析)	(29)平成29年3月 合田央志変更書提出済 ・基礎作業学演習(基礎作業分析)
専	助教	キヨモト 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習	専	助教	キヨモト 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用作業分析) 作業療法評価学演習(中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(29)平成29年3月 清本憲太変更書提出済 ・基礎作業学演習(応用作業分析) ・作業療法評価学演習(中枢神経系) ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
兼任	講師	キヨモト 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 運動学演習	専	講師	キヨモト 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 運動学演習	(29)専任教員へ変更

兼任	教授	オホバ イワ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼任	教授	カガトキ 賀来 亨	平成28年4月	小児科学	担当教員変更(兼任)
兼任	教授	モリマ マコ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学						変更なし
兼任	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学						変更なし
兼任	准教授	モリガチ マイ 森口 真衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理						変更なし
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語						変更なし
兼任	講師	オホタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論						変更なし
兼任	講師	サシナ ナホ 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)						変更なし
兼任	講師	シミス カル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法学						変更なし
兼任	講師	カガチ トモヤス 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)						変更なし
兼任	講師	シノカ ヨシヒコ 渋川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)						変更なし
兼任	講師	ヤマケチ カズキ 山口 和之	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	アサチ アツヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	ハクハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	スズキ サト 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション						変更なし
兼任	講師	スキモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	オガタ シゲヒコ 岡田 しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習						変更なし
兼任	講師	コダマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法学						変更なし
兼任	講師	ハマモト タツ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法学						変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学	兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学 基礎作業学演習 (基礎作業分析) 基礎作業学演習 (応用作業分析)	担当科目追加(兼任)(28) 担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	イケダ ナガム 池田 望	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	カノ ヒトシ 河野 仁志	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	モリモト カズミ 森本 隆文	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中枢神経系)						変更なし
兼任	講師	スキモト ノリコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法学						変更なし
兼任	講師	イケダ タケヒロ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)						変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析)						変更なし
兼任	講師	オガイ マサル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析)						変更なし
兼任	講師	ヤマナ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)						変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学	兼任	講師	一瀬 信敏	平成28年4月	生理学	担当教員変更(兼任)(28)

兼任	講師	イトビ ミチ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想						変更なし
兼任	講師	カハヤシ ヒロ 中林 秀和	平成27年4月	生物学						変更なし
兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学	兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学	生活科学と情報科学の担当教員を 変更した。(29)
					兼任	講師	ミヤケリ ヨシコ 宮森 芳子	平成29年4月	生活科学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	情報科学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	イシダ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論					変更なし	
兼任	講師	チバ タカ 千葉 卓	平成27年4月	法学						変更なし
兼任	講師	サキハラ ユカ 萩原 裕子	平成27年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	変更なし
					兼任	講師	橋本めぐみ	平成28年4月	生活と運動 健康とスポーツ	担当教員追加(兼任)(28)
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学						変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	ツチハシ ケイ 土橋 恵	平成29年4月	病理学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	オガタ ケン 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学						変更なし
兼任	講師	コンドウ フミエ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学	兼任	教授	シマモト カズキ 島本 和明	平成29年4月	保健医療論 内科学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ヤマモト ヤス 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法 演習 スポーツ理学療法						変更なし
兼任	講師	ハス シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤガタ ムネル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コベラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサノ ユカ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オニヅカ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法	兼任	講師	ホンドウ ノブヒロ 本道 伸弘	平成29年4月	義肢装具作業療法	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤス 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	モリヤ キン 森谷 梨	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロユキ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシエ 今井 由恵	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史	兼任	講師	ハマクチ ユウスケ 濱口 裕介	平成29年4月	北海道史	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	オウチノ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オウチノ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い

兼任	講師	ゼフ・ブルックリン	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	デ'化'ット' フルナー	平成27年4月	英語Ⅱ	担当教員変更（兼任）
兼任	講師	アカマ ヲウ 赤間 壮太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アカマ ヲウ 赤間 壮太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	私金 チャンキン 金 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジタ マサブ 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論 (行動分析)	専	教授	フジタ マサブ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	(29)平成28年6月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系) 可 (29)平成29年2月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー) 可
兼任	講師	イダ ヒロシ 池田 官司	平成28年4月	精神医学						変更なし
兼任	講師	カキ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	カキ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法学	担当教員変更（兼任） (29) 高齢期障害作業療法学、担当教員変更（専任）
兼任	講師	サンミ コウ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)						変更なし
兼任	講師	セリタ カル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法	兼任	講師	セリタ コウ 芹田 洋子	平成29年4月	応急処置法	担当教員追加（兼任）(29)
兼任	講師	クノ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※						変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウヘイ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論						変更なし
兼任	講師	ヨコグシ カズト 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学	兼任	講師	佐々木 浩一	平成28年4月	整形外科学	担当教員変更（兼任）(28)
兼任	講師	スギ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学	兼任	講師	サイトウ マサキ 齊藤 正樹	平成28年4月	神経内科学	担当教員変更（兼任）(28) 担当教員年齢修正(29)
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤト シゲノリ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学	担当教員変更（兼任）
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	カイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学	担当教員変更（兼任）
兼任	講師			代謝・免疫系障害学療法	兼任	講師	カウ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害学療法	担当教員追加（兼任）
				運動器障害学療法	専	教授 (学科長)	イノ キミル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害学療法	科目開設時までに変更書提出予定 (28) (29)平成29年2月 乾公美AC教員審査済 ・運動器障害学療法 可

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていな場合は、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていな場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度

() 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	5人	4人	16人	5人	2人	5人	4人	16人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)						[△1人]	[1人]	[3人]	[0人]	[3人]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	講師	樋室 伸顕	選択	運動療法学演習	①	[Redacted]	
			選択	発達障害理学療法学	①		
			選択	臨床実習Ⅱ(理学療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅲ(理学療法)	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	澤田 雄二	選択	作業療法学概論演習	①	[Redacted]	
			選択	作業療法評価学演習（骨・関節系）	①		
			選択	作業療法評価学演習（神経・筋力系）	①		
			選択	日常生活適応学（ADL）	①		
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
2	准教授	早川 宏子	選択	基礎作業学演習（基礎作業分析）	①	[Redacted]	
			選択	基礎作業学演習（応用作業分析）	①		
			選択	作業療法セミナーⅠ	①		
			必修	運動学演習	①		
			必修	地域リハビリテーション学	①		
			選択	福祉住環境論	①		
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①		
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3 人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
	選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	26	科目	計	26	科目	計	0	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	<p>・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。</p>	留意事項	<p>(27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必須・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。</p> <p>(28) 27年度と同様の対応を行った。</p> <p>(29) 28年度と同様の対応を行った。</p>
	<p>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	留意事項	<p>(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グラウンド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。</p> <p>(28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める</p> <p>(29) 28年度と同様に対応した。</p>
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	留意事項	<p>(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。</p> <p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p>

	<p>・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までには教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>(27)32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目については、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。</p> <p>(28)未配置科目6科目中、5科目については、1月の教員審査で既に承認を得ている。残りの1科目については開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。</p> <p>(29)全ての科目について、専任教員を配置済。</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (28年2月)</p>	<p>保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>(28)平成28年1月12日の執行役員会において「学生募集対策本部」の設置を決議した。</p> <p>○設置の目的 専門学校から大学に改組したにもかかわらず入学定員が充足していない。28年度においても定員充足については極めて厳しい状況にある。 質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。</p> <p>○メンバー [本部長]理事長 [副本部長]学長 [看護学科担当]学科長 [リハビリテーション学科担当]学科長 [診療放射線学科担当]学科長 [大学事務局]事務局長、広報担当係員2人</p> <p>(29)引き続き学生募集対策委員会において、学生確保に努める。</p>	<p>学生募集対策委員会会議は、過去6回(1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18)開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。</p> <p>○検討事項 1 学生の確保に関する事項 ①学生確保に関する基本方針に関する事項 ②学生募集要項に関する事項 ③学生募集に関わる調査及び研究等に関する事項 ④その他学生の確保に関する事項 2 広報に関する事項 ①学生募集に係る広報活動に関する事項 ②各種メディアを利用した広報活動に関する事項 ③ホームページの企画及び作成に関する事項 ④大学案内等の企画及び作成に関する事項 ⑤その他の広報活動に関する事項 3 適正な入学定員に関する事項</p>

	<p>保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p>	<p>(28) 今回、リハビリテーション学科設置に伴う定年延長の特別措置は、あくまでも例外的な措置であり、定年年齢(65)を超えて採用した専任教員(以下A教員という。)及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員(以下B教員という。)については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。上記特別措置の該当教員については、A教員の該当者は4人、B教員の該当者は2人いる。特例期間が満了する前に教員を補充する計画であり、任用に当たっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。</p>																																																
設置計画履行状況調査時(29年2月)	<p>保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。(職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在)</p> <table border="1" data-bbox="699 891 1142 1238"> <thead> <tr> <th></th> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>40～49</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>50～59</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>60～64</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>65～69</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>教員組織編制の将来構想は、退職する教授の後任には、教員任用規程に基づき学内の准教授を教授に昇任するほか、年齢構成を考慮し、50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また、今後も、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。</p>		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			3	2	5	40～49		1		2	3	50～59		1	2		3	60～64	1				1	65～69	3				3	70以上	1				1	計	5	2	5	4	16	
	教授	准教授	講師	助教	計																																															
30～39			3	2	5																																															
40～49		1		2	3																																															
50～59		1	2		3																																															
60～64	1				1																																															
65～69	3				3																																															
70以上	1				1																																															
計	5	2	5	4	16																																															

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般入学試験 ・ 推薦入学試験 	① 平成29年度入学試験（平成29年4月入学生）はA0入学試験を2回実施。 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）については、A0入学試験を1回実施予定。 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、大学入試センター試験利用入学試験を実施予定

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回FD委員会 平成28年 4月27日（教員8人、事務職員1人） ・ 第2回FD委員会 平成28年 6月 8日（教員8人、事務職員1人） ・ 第3回FD委員会 平成29年 1月10日（教員8人、事務職員1人） ・ 第4回FD委員会 平成29年 1月25日（教員8人、事務職員1人） c 委員会の審議事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会の今年度の活動計画について ・ 授業評価アンケートについて ・ FD研修会について ・ 次年度の活動と予算（案）
② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 学生による授業評価アンケートの改訂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式の見直しを行なった。 ② 学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修―選択科目集計表・基礎教育―専門基礎教育―専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。 各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。次年度より、各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらうことが話し合われた。さらに、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつなげることが決定された。

③ 教育課程の検討

・看護学科は2年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2018年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いが行われた。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。

④ 教員研修会の実施、授業方法の開発

教員研修会に関しては、平成28年度は各教員の研究活動に関わる企画を据えた。研究活動はFD委員会の主目的である教育課程・体制の開発向上や教育方法の向上とも間接的につながるものであり、研究の充実が学生に提供する講義内容、教育方法の向上とも連動することから、シリーズ1として、研究倫理に関する学習会、シリーズ2としてアクティブ・ラーニングに関する学習会を実施した。

研究倫理については、ここ近年、研究者に倫理意識の向上が求められており、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が出され、大学教員に対し研究倫理に関する講義の受講が義務付けられていることから、研究倫理委員会との合同企画としてシリーズ1を実施した。

・シリーズ1：平成28年8月31日（水）

第1部 研究倫理教育 13：30～15：00

札幌医科大学 医学部知的財産管理学 石埜正穂教授

「責任ある研究活動への取り組み」-研究活動における不正行為について-

第2部 コンプライアンス教育 15：10～16：10

本学リハビリテーション学科学科長 乾 公美教授

-本学における競争的資金等の適正な執行について-

・シリーズ2：平成28年9月6日（水）14：00～16：00

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研修センター

山本 堅一 特任准教授

「アクティブ・ラーニングについて」

参加者は公務で不在の教員を除き、2回とも全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。

b 実施方法

・上記の実施内容に沿って適切に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成29年度（前期・後期）は、専任教員科目については学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・学期毎に実施 前期7～8月 後期1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分：9月 後期分：翌年度の4月

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成28年度が開設3年目、リハビリテーション学科は開設2年目、診療放射線学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めていく方針である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・日本医療大学年報第2号（平成28年度）を、自己点検・評価報告書に代えて平成29年度下期に公表予定。

b 公表方法

- ・本学ホームページに公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（日本高等教育評価機構）評価を受けるべく、準備中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(29年 8月)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号

(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公美 (平成27年4月)	(27)設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻 学士 (リハビリテーション学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4年	40人	-	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	- (-) [-]	- (-) [-]	40人 (-) [-]	- (-) [-]	40人 (-) [-]	- (-) [-]	40人 (-) [-]	- (-) [-]	0.44倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	22人 (-) [-]	- (-) [-]	45人 (-) [-]	- (-) [-]	31人 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	22人 (-) [-]	- (-) [-]	45 (-) [-]	- (-) [-]	31人 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	24人 (-) [-]	- (-) [-]	39人 (-) [-]	- (-) [-]	28人 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	15人 (-) [-]	- (-) [-]	26人 (-) [-]	- (-) [-]	13人 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-		0.37倍		0.65倍		0.32倍			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 15人	[-] (-) -	[-] (-) 26人	[-] (-) -	[-] (0人) 13人	[-] (-) -	
2年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 15人	[-] (-) -	[-] (1人) 26人	[-] (-) -	
3年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 14人	[-] (-) -	
4年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計	[-] (-) -	[-] (-) -			[-] (-) 15人	[-] (-) -	[-] (-) 41人	[-] (-) -	[-] (1人) 53人

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人		- %
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	15 人	0 人	平成27年度	人	人		0.00 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	26 人	1 人	平成28年度	1 人	人	一身上の都合(1人)	3.84 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	13 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
合 計	54 人	1 人					1.85 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教 育 科 目	心理学	1前	1								兼1	
	発達心理学	1後		1							兼1	
	生物学	1前		2							兼1	
	物理学	1後-1前		2							兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	生活科学	1後		1							兼1	
	環境科学	1前		1							兼1	
	生活と運動	1後	1								兼1	兼2 教員追加 (28)
	健康とスポーツ	1後		1							兼1	兼2 教員追加 (28)
	統計学	1後		1							兼1	
	情報科学	1前	1								兼1	
	情報科学演習	1前		1					1			
	人間発達学	2後	2								兼1	
	倫理学	1前	1								兼1	
	生命倫理	1後	1								兼1	
	哲学	1後		1							兼1	
	論理学	1前		1							兼1	
	宗教と思想	2前		1							兼1	
	人間関係論	1後		1							兼1	
	文化人類学	1後		1							兼1	
	社会学	1後		1							兼1	
	音楽	2後		1							兼1	
	法学	1前		1							兼1	
	教育学	1前		1							兼1	
	北海道史	1前		1							兼1	
	ボランティア活動	2後		1							兼1	
	日本語表現	1前	1								兼1	
	英語 I	1前	1								兼1	
	英語 II	1後	1								兼1	
英語 III	2前		1							兼1		
英語 IV	3前		1							兼1		
中国語	1後		1							兼1		
韓国語	2前		1							兼1		
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4								兼1	
	解剖学演習 (骨・筋)	1前	2				1	2			兼1	27年1月教員審査済 教員追加 (28) [担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可]
	解剖学演習 (神経)	1後	1								兼1	
	体表解剖学	1前	1				1		1		兼1	0 教員追加 (28) [担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可]
	機能解剖学	1後	1				1				兼1	27年1月教員審査済 担当教員を変更するため、担当科目追加 (29) 担当 松田 智恵 (講師) H29.03変更書提出済
	生理学	1前	4								兼1	
	生理学演習	2前	1			1		1			兼1	27年1月教員審査済
	運動学	2前	4				1				兼1	
	運動学演習	2後	1			1			3		兼1	
	病理学	1後-1前 1後	2								兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更 担当教員の都合により、配当学期を変更 (28)
	栄養学	1前		2							兼1	
	臨床心理学	2前		2							兼1	

専 門 基 礎 教 育 科 目	カウンセリング論	2後		2						兼1	
	教育心理学	2前		2						兼1	
	内科学	2前 2後	2							兼1	学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)
	整形外科学	2前	2							兼1	
	神経内科学	2前	2							兼1	
	精神医学	2後	2							兼1	
	小児科学	2前	1							兼1	
	障害学特論	2後		2						兼3	
	リハビリテーション論	1後	2			1					
	チーム医療論	3前	1			1				兼4	
	保健医療論	2後		1						兼1	
	社会福祉学	1後		1						兼1	
健康政策論	4後		1						兼3		
	作業療法概論	1前		1		1					
	作業療法概論演習	1後		1		1	1	1			教員変更 (28) 担当 八田達夫 (教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 八田 達夫 (教授) H28.06 教員審査済 判定 可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
	基礎作業学演習 (基礎作業分析)	1前		1			+ 0	1	兼2 兼3		教員追加 (28) 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 合田 央志 (助教) H29.03変更書提出済
	基礎作業学演習 (応用作業分析)	1後		1			+ 0	1	兼4 兼2		教員追加 (28) 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 清本 憲太 (助教) H29.03変更書提出済
	作業療法セミナーⅠ	1後		1				1			27年1月教員審査済 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H29.03変更書提出済
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1					
	作業療法セミナーⅢ	3前		1			1				
	作業療法評価学	2前		1		1					
	作業療法評価学演習 (基礎評価)	2前		1				1	兼1		
	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	2前		1		1	1	1	兼1		教員変更 (28) 担当 坪田貞子 (教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 坪田 貞子 (教授) H28.06 教員審査済 判定 可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	2後		2		+ 0	+ 2	2	兼1		教員変更 (28) 担当 大堀具視 (准教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、担当科目追加 (29) 担当 大堀 具視 (准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
	作業療法評価学演習 (中枢神経系)	2後		2				+ 2	兼1		担当教員を変更するため、担当科目追加 (29) 担当 清本 憲太 (助教) H29.03変更書提出済
	身体障害作業治療学 (中枢神経障害系)	3通		2			1				
	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)	3前		1		1			兼1		
	精神障害作業治療学	3通		2					兼1 3		非常勤講師変更・追加 (29)
	発達障害作業治療学	3通		2		1			兼1 0		非常勤講師が辞退したため、担当科目追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H29.02 教員審査済 判定 可
	高齢期障害作業治療学	3通		2			1				
	高次脳機能障害作業治療学	3前		1					兼1		
	義肢装具作業療法学	3前 3後		1		1			兼1		学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)
	義肢装具作業療法学演習	4前 3後		1		1					学習効果を高めるため、配当学期を変更 (29)
	日常生活適応学 (ADL)	3前		2		+ 0	1				教員変更 (28) 担当 岸上博俊 (教授) 平成28年3月教員審査中 澤田雄二教授の後任として、教員追加 (29) 担当 岸上 博俊 (准教授) H28.08 教員審査済 判定 可

日常生活適応学（動作分析）	3後		2			1				
福祉用具学	3後		1		1					
就労支援作業療法学	3後		1		1					
作業療法治療学特論（治療理論）	3後		1						兼1	
作業療法治療学特論（シーティング）	3後		1		1					
作業療法治療学特論（ハンドセラピー）	3後		1		1				兼1	0
地域作業療法学	3前		1						兼1	
福祉住環境論	3後		1			0	1			
										27年1月教員審査済
										早川宏子准教授の後任として、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅰ（作業療法）	2後		2		3	2	0	+	+	+
										27年1月教員審査済 教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中
										澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定 可
										担当教員充実のため、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済
										担当教員充実のため、担当科目追加（29） 担当 清本 憲太（助教） H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅱ（作業療法）	3後		3		3	2	0	+	+	+
										27年1月教員審査済（27） 教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中
										澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅲ（作業療法）	4前		16		3	2	0	+	+	+
										27年1月教員審査済 教員変更（28） 担当 岸上博俊（教授） 平成28年3月教員審査中
										澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定 可
リハビリテーション管理学	4後	1				1	1			
呼吸リハビリテーション特論	3後		1						兼1	
応急処置法	3前		1						兼1	2
軟部組織治療学	3前		1						兼1	
ウィメンズヘルスケア論	3前		1						兼2	
災害リハビリテーション	3前		1						兼2	
地域リハビリテーション学	2前	1				1				27年1月教員審査済
										早川宏子准教授の後任として、担当科目追加（29） 担当 大堀 具視（准教授） H29.03変更書提出済
地域リハビリテーション学演習	2前	1						1	兼2	
研究法	3前	1			1					
卒業研究Ⅰ	3後	1			6	5	+	+	+	+
										27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可
										澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定 可
										H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅱ	4通	2			6	5	+	+	+	+
										27年1月教員審査済 教員追加（28） 担当 向井康詞（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹（講師） 平成28年1月教員審査済 判定可
										澤田雄二教授の後任として、教員追加（29） 担当 岸上 博俊（准教授） H28.08 教員審査済 判定 可
										H29.03 種室伸顕講師 就任辞退（29） 種室伸顕講師の後任として、教員追加（29） 担当 松田 智恵（講師） H29.02 教員審査済 判定 可

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地)運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり			
	校舎敷地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡				
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡				
	小 計	43,541㎡ 22,596㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡				
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡				
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡				
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)			
		16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡ (5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡ (16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)				
(3)	教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		11室	11室	10室	1室 (補助職員0人)	情報処理室と共用 (補助職員0人)			
(4)	専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
		保健医療学部 リハビリテーション学科		15 室					
(5)	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変更あり (28)図書、学術雑誌、 変更あり (29)図書、学術雑誌 (総冊数から種に変更)、 機械・器具に変更あり	
		[うち外国書]	[うち外国書]						[うち外国書]
		冊	種	点	点	点			
		保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,484[172]) (-8,789[170]) (-8,345[163]) (-8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [-653] (145[40]) (-2,158[695]) (-2,006[646]) (-1,966 [-633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (961) (960)		30 (32) (30)
計	9,140 [237] (8,484[172]) (-8,789[170]) (-8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [-653] (145[40]) (-2,158[695]) (-1,966 [-633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (960)	30 (32) (30)			
(6)	図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		206.61㎡	50席	14,640冊					
(7)	体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		556.1㎡	テニスコート1面						
(8)	経費の見積り及び 経費の見積り及び	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(27)経費の見積り及び 資金計画の一部変更
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 10,102千円	3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 33,439千円	3,383千円 2,000千円	2,000千円	

維持方法 の概要	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	理学と作業の合算
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.69	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.94	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.44	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.05	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	該当なし

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授(学長)	テンノ リウイ 傳野 隆一	平成27年4月	保健医療論 チーム医療論	兼任	教授(学長)	テンノ リウイ 傳野 隆一	平成27年4月	チーム医療論	
					兼任	教授	シモト カズキ 島本 和明	平成28年4月	保健医療論 内科学	担当教員変更(兼任)(28) 内科学 担当教員変更(兼任) (29)
専	教授	イシキ ミサル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授(学長)	イシキ ミサル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害理学療法学	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。 (29)平成29年2月 乾公美 A C 教員審査済 ・運動器障害理学療法学 可
専	教授	カハミ ミチコ 高橋 光彦	平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サウジ ヒロキ 佐藤 秀紀	平成27年4月	リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	ツバタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ツバタ サコ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	(29)平成28年6月 坪田貞子 A C 教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系) 可 (29)平成29年2月 坪田貞子 A C 教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー) 可

専	教授	ツバタ ヲウジ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	専	教授	ツバタ ヲウジ 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系)可 (29)平成29年2月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー)可																						
										作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活応用学(A D L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 八田達夫AC教員審査済 ・作業療法概論演習可											
																					作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	専	准教授	材料 トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	専	准教授	材料 トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	H28年3月変更書提出(審査中) (28) (29)平成28年6月 大堀具視AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(神経・筋力系)可 (29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・福祉住環境論 ・地域リハビリテーション学 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
																																作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活応用学(A D L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	専	教授	ハツタ タツヲ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シフト)	(29)平成28年6月 八田達夫AC教員審査済 ・作業療法概論演習可																

専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学	専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管理 学 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 福祉住環境論 地域リハビリテーション 学 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(27)採用予定年月を1年早めた (29)平成28年6月 大堀具視AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(神経・筋力系)可 (29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・福祉住環境論 ・地域リハビリテーション学 ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	ハヤカ 早川 ヒロ 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーシ ョン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み (29)平成29年3月 早川宏子准教授 退職
					専	助教	ゴウカ 合田 ヒロ 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎 作業分析)	(29)平成29年3月 合田央志変更書提出済 ・基礎作業学演習(基礎作業分 析)
				基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーシ ョン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	助教	キヨタ ケン 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(29)平成29年3月 清本憲太変更書提出済 ・基礎作業学演習(応用作業分 析) ・作業療法評価学演習(中枢神経 系) ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
					専	准教授	キカミ ヒロシ 岸上 博俊	平成29年4月	作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活適応学(AD L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 高年齢障害作業治療学 作業療法セミナーⅠ	(29)平成28年8月 岸上博俊AC教員審査済 ・作業療法概論演習 可 ・作業療法評価学演習(骨・関節 系) 可 ・作業療法評価学演習(神経・筋 力系) 可 ・日常生活適応学(ADL) 可 ・臨床実習Ⅰ(作業療法) 可 ・臨床実習Ⅱ(作業療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(作業療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 (29)平成29年2月 岸上博俊AC教員審査済 ・高年齢障害作業治療学 可 (29)平成29年3月 岸上博俊変更書提出済 ・作業療法セミナーⅠ
					専	准教授	材村 トモ 大堀 具視	平成28年4月	地域リハビリテーシ ョン学 福祉住環境論	(29)平成29年3月 大堀具視変更書提出済 ・地域リハビリテーション学 ・福祉住環境論
専	講師	イハシ 石橋 アキト 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	講師	イハシ 石橋 アキト 晃仁	平成27年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提出 (審査中)

専	講師	ヒロキ 木室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	マツダ 智恵 松田	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 機能解剖学 臨床実習Ⅰ	(29)平成29年2月 松田智恵AC教員審査済 ・運動療法学演習 可 ・発達障害理学療法 可 ・臨床実習Ⅱ(理学療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(理学療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 ・卒業研究Ⅱ 可 (29)平成29年3月 松田智恵変更書提出済 ・機能解剖学 ・臨床実習Ⅰ
兼任	講師	ヒロキ 木室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習	専	講師	マツダ 智恵 松田	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 機能解剖学 臨床実習Ⅰ	(29)平成29年2月 松田智恵AC教員審査済 ・運動療法学演習 可 ・発達障害理学療法 可 ・臨床実習Ⅱ(理学療法) 可 ・臨床実習Ⅲ(理学療法) 可 ・卒業研究Ⅰ 可 ・卒業研究Ⅱ 可 (29)平成29年3月 松田智恵変更書提出済 ・機能解剖学 ・臨床実習Ⅰ
				解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	キヨタ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
				解剖学演習(骨・筋) 体表解剖学 理学療法評価学(運動器系) 臨床判断学(基礎編) 臨床判断学(応用編) 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	向井 康詞	平成28年4月	解剖学演習(骨・筋) 体表解剖学 理学療法評価学(運動器系) 臨床判断学(基礎編) 臨床判断学(応用編) 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H28年1月教員審査済み(28)
				義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	西山 徹	平成28年4月	義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H28年1月教員審査済み(28)
専	助教	シロイ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シロイ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習	専	助教	シロイ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 情報科学演習	(29)専任教員へ変更
専	助教	キハラ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習(運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習						変更なし
専	助教	ゴウカ 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習(基礎評価) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 作業療法評価学演習(中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)	専	助教	ゴウカ 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習(基礎評価) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 作業療法評価学演習(中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎作業分析)	(29)平成29年3月 合田央志変更書提出済 ・基礎作業学演習(基礎作業分析)
専	助教	キヨモト 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習	専	助教	キヨモト 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用作業分析) 作業療法評価学演習(中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)	(29)平成29年3月 清本憲太変更書提出済 ・基礎作業学演習(応用作業分析) ・作業療法評価学演習(中枢神経系) ・臨床実習Ⅰ(作業療法)
兼任	講師	キヨモト 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 運動学演習	専	講師	キヨモト 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 運動学演習	(29)専任教員へ変更

兼任	教授	オホバ イワ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼任	教授	カガトキ 賀来 亨	平成28年4月	小児科学	担当教員変更(兼任)
兼任	教授	モリマ マコ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学						変更なし
兼任	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学						変更なし
兼任	准教授	モリガチ マイ 森口 真衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理						変更なし
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語						変更なし
兼任	講師	オホタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論						変更なし
兼任	講師	サシナ ナホ 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)						変更なし
兼任	講師	シミズ カル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法						変更なし
兼任	講師	カガチ トモヤス 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)						変更なし
兼任	講師	シノカ ヨシヒコ 渋川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)						変更なし
兼任	講師	ヤマケチ カズキ 山口 和之	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	アサチ アツヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	ハクハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション						変更なし
兼任	講師	スキモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	オガタ シゲヒコ 岡田 しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習						変更なし
兼任	講師	コガマ タケヒロ 児玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法						変更なし
兼任	講師	ハマモト タツ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法						変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学	兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学 基礎作業学演習 (基礎作業分析) 基礎作業学演習 (応用作業分析)	担当科目追加(兼任)(28) 担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	イケダ ナガム 池田 望	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	カノ ヒトシ 河野 仁志	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	モリモト カズミ 森本 隆文	平成29年4月	精神障害作業治療学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中枢神経系)						変更なし
兼任	講師	スキモト ノリコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法						変更なし
兼任	講師	イケダ タケヒロ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)						変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析)						変更なし
兼任	講師	オガイ マサル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析)						変更なし
兼任	講師	ヤマナ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)						変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学	兼任	講師	一瀬 信敏	平成28年4月	生理学	担当教員変更(兼任)(28)

兼任	講師	イトビ ミチ子 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想						変更なし
兼任	講師	カハヤシ ヒロキ 中林 秀和	平成27年4月	生物学						変更なし
兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学	兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学	生活科学と情報科学の担当教員を変更した。(29)
					兼任	講師	ミヤケリ ヨシコ 宮森 芳子	平成29年4月	生活科学	担当教員変更(兼任)(29)
					兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	情報科学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	イシダ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論					変更なし	
兼任	講師	チバ タカ 千葉 卓	平成27年4月	法学						変更なし
兼任	講師	サキハラ ユカ 萩原 裕子	平成27年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	変更なし
					兼任	講師	橋本めぐみ	平成28年4月	生活と運動 健康とスポーツ	担当教員追加(兼任)(28)
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学						変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	ツチハシ ケイ 土橋 恵	平成29年4月	病理学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	オガタ ケイコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学						変更なし
兼任	講師	コンドウ フミエ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学	兼任	教授	シマモト カズキ 島本 和明	平成29年4月	保健医療論 内科学	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ヤマモト ヤスオ 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法 演習 スポーツ理学療法						変更なし
兼任	講師	ハス シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤガタ ムネル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コベラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサノ ユカ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オニヅカ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法	兼任	講師	ホンドウ ノブヒロ 本道 伸弘	平成29年4月	義肢装具作業療法	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	モリヤ キン 森谷 梨	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロキ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシエ 今井 由恵	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史	兼任	講師	ハマクチ ユウスケ 濱口 裕介	平成29年4月	北海道史	担当教員変更(兼任)(29)
兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い

兼任	講師	ゼフ・ブルックリン	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	デビッド・フルナー	平成27年4月	英語Ⅱ	担当教員変更（兼任）
兼任	講師	アキラ 赤間 ソウタ 庄太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アキラ 赤間 ソウタ 庄太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	私金 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジタ 修靖 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論 (行動分析)	専	教授	ソウタ 貞子 坪田 貞子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	(29)平成28年6月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法評価学演習(骨・関節系) 可 (29)平成29年2月 坪田貞子AC教員審査済 ・作業療法治療学特論(ハンドセラピー) 可
兼任	講師	イダ 官司 池田 官司	平成28年4月	精神医学						変更なし
兼任	講師	カキ 真理 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	カキ 真理 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法学	担当教員変更（兼任） (29) 高齢期障害作業療法学、担当教員変更（専任）
兼任	講師	サンミ 孝太 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)						変更なし
兼任	講師	セリタ 馨 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法	兼任	講師	セリタ 洋子 芹田 洋子	平成29年4月	応急処置法	担当教員追加（兼任）(29)
兼任	講師	クニ 研二 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※						変更なし
兼任	講師	オヤマ 陽平 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論						変更なし
兼任	講師	ヨコグシ 算敏 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学	兼任	講師	佐々木 浩一	平成28年4月	整形外科学	担当教員変更（兼任）(28)
兼任	講師	スギ 昭治 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学	兼任	講師	サイトウ 正樹 齊藤 正樹	平成28年4月	神経内科学	担当教員変更（兼任）(28) 担当教員年齢修正(29)
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤト 重範 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学	担当教員変更（兼任）
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	カイ 信哉 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学	担当教員変更（兼任）
兼任	講師			代謝・免疫系障害学療法	兼任	講師	カウ 新司 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害学療法	担当教員追加（兼任）
				運動器障害学療法	専	教授 (学部長)	イノ 公美 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害学療法	科目開設時までに変更書提出予定 (28) (29)平成29年2月 乾公美AC教員審査済 ・運動器障害学療法 可

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度

() 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	5人	4人	16人	5人	2人	5人	4人	16人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)						[△1人]	[1人]	[3人]	[0人]	[3人]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	講師	榑室 伸頭	選択	運動療法学演習	①	[Redacted]	
			選択	発達障害理学療法学	①		
			選択	臨床実習Ⅱ(理学療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅲ(理学療法)	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	澤田 雄二	選択	作業療法学概論演習	①	[Redacted]	
			選択	作業療法評価学演習(骨・関節系)	①		
			選択	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	①		
			選択	日常生活適応学 (ADL)	①		
			選択	臨床実習Ⅰ(作業療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅱ(作業療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅲ(作業療法)	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
2	准教授	早川 宏子	選択	基礎作業学演習(基礎作業分析)	①	[Redacted]	
			選択	基礎作業学演習(応用作業分析)	①		
			選択	作業療法セミナーⅠ	①		
			必修	運動学演習	①		
			必修	地域リハビリテーション学	①		
			選択	福祉住環境論	①		
			選択	臨床実習Ⅰ(作業療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅱ(作業療法)	①		
			選択	臨床実習Ⅲ(作業療法)	①		
			必修	卒業研究Ⅰ	①		
			必修	卒業研究Ⅱ	①		
			合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
3 人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
	選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	26	科目	計	26	科目	計	0	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	<p>・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。</p>	留意事項	<p>(27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必須・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。</p> <p>(28) 27年度と同様の対応を行った。</p> <p>(29) 28年度と同様の対応を行った。</p>
	<p>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	留意事項	<p>(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グラウンド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。</p> <p>(28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める</p> <p>(29) 28年度と同様に対応した。</p>
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	留意事項	<p>(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。</p> <p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p>

	<p>・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までには教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>(27)32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目については、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。</p> <p>(28)未配置科目6科目中、5科目については、1月の教員審査で既に承認を得ている。残りの1科目については開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。</p> <p>(29)全ての科目について、専任教員を配置済。</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (28年2月)</p>	<p>保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>(28)平成28年1月12日の執行役員会において「学生募集対策本部」の設置を決議した。</p> <p>○設置の目的 専門学校から大学に改組したにもかかわらず入学定員が充足していない。28年度においても定員充足については極めて厳しい状況にある。 質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。</p> <p>○メンバー [本部長]理事長 [副本部長]学長 [看護学科担当]学科長 [リハビリテーション学科担当]学科長 [診療放射線学科担当]学科長 [大学事務局]事務局長、広報担当係員2人</p> <p>(29)引き続き学生募集対策委員会において、学生確保に努める。</p>	<p>学生募集対策委員会会議は、過去6回(1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18)開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。</p> <p>○検討事項 1 学生の確保に関する事項 ①学生確保に関する基本方針に関する事項 ②学生募集要項に関する事項 ③学生募集に関わる調査及び研究等に関する事項 ④その他学生の確保に関する事項 2 広報に関する事項 ①学生募集に係る広報活動に関する事項 ②各種メディアを利用した広報活動に関する事項 ③ホームページの企画及び作成に関する事項 ④大学案内等の企画及び作成に関する事項 ⑤その他の広報活動に関する事項 3 適正な入学定員に関する事項</p>

	<p>保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p>	<p>(28) 今回、リハビリテーション学科設置に伴う定年延長の特別措置は、あくまでも例外的な措置であり、定年年齢(65)を超えて採用した専任教員(以下A教員という。)及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員(以下B教員という。)については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。上記特別措置の該当教員については、A教員の該当者は4人、B教員の該当者は2人いる。特例期間が満了する前に教員を補充する計画であり、任用に当たっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。</p>																																																
設置計画履行状況調査時(29年2月)	<p>保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。(職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在)</p> <table border="1" data-bbox="699 891 1142 1238"> <thead> <tr> <th></th> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>40～49</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>50～59</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>60～64</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>65～69</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>教員組織編製の将来構想は、退職する教授の後任には、教員任用規程に基づき学内の准教授を教授に昇任するほか、年齢構成を考慮し、50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また、今後も、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。</p>		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			3	2	5	40～49		1		2	3	50～59		1	2		3	60～64	1				1	65～69	3				3	70以上	1				1	計	5	2	5	4	16	
	教授	准教授	講師	助教	計																																															
30～39			3	2	5																																															
40～49		1		2	3																																															
50～59		1	2		3																																															
60～64	1				1																																															
65～69	3				3																																															
70以上	1				1																																															
計	5	2	5	4	16																																															

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般入学試験 ・ 推薦入学試験 	① 平成29年度入学試験（平成29年4月入学生）はA0入学試験を2回実施。 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）については、A0入学試験を1回実施予定。 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、大学入試センター試験利用入学試験を実施予定

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回FD委員会 平成28年 4月27日（教員8人、事務職員1人） ・ 第2回FD委員会 平成28年 6月 8日（教員8人、事務職員1人） ・ 第3回FD委員会 平成29年 1月10日（教員8人、事務職員1人） ・ 第4回FD委員会 平成29年 1月25日（教員8人、事務職員1人） c 委員会の審議事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会の今年度の活動計画について ・ 授業評価アンケートについて ・ FD研修会について ・ 次年度の活動と予算（案）
② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 学生による授業評価アンケートの改訂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式の見直しを行なった。 ② 学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修—選択科目集計表・基礎教育—専門基礎教育—専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。 各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。次年度より、各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらうことが話し合われた。さらに、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつなげることが決定された。

③ 教育課程の検討

・看護学科は2年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2018年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いが行われた。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。

④ 教員研修会の実施、授業方法の開発

教員研修会に関しては、平成28年度は各教員の研究活動に関わる企画を据えた。研究活動はFD委員会の主目的である教育課程・体制の開発向上や教育方法の向上とも間接的につながるものであり、研究の充実が学生に提供する講義内容、教育方法の向上とも連動することから、シリーズ1として、研究倫理に関する学習会、シリーズ2としてアクティブ・ラーニングに関する学習会を実施した。

研究倫理については、ここ近年、研究者に倫理意識の向上が求められており、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が出され、大学教員に対し研究倫理に関する講義の受講が義務付けられていることから、研究倫理委員会との合同企画としてシリーズ1を実施した。

・シリーズ1：平成28年8月31日（水）

第1部 研究倫理教育 13：30～15：00

札幌医科大学 医学部知的財産管理学 石埜正穂教授

「責任ある研究活動への取り組み」-研究活動における不正行為について-

第2部 コンプライアンス教育 15：10～16：10

本学リハビリテーション学科学科長 乾 公美教授

-本学における競争的資金等の適正な執行について-

・シリーズ2：平成28年9月6日（水）14：00～16：00

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研修センター

山本 堅一 特任准教授

「アクティブ・ラーニングについて」

参加者は公務で不在の教員を除き、2回とも全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。

b 実施方法

・上記の実施内容に沿って適切に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成29年度（前期・後期）は、専任教員科目については学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・学期毎に実施 前期7～8月 後期1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分：9月 後期分：翌年度の4月

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成28年度が開設3年目、リハビリテーション学科は開設2年目、診療放射線学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めていく方針である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・日本医療大学年報第2号（平成28年度）を、自己点検・評価報告書に代えて平成29年度下期に公表予定。

b 公表方法

- ・本学ホームページに公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（日本高等教育評価機構）評価を受けるべく、準備中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(29年 8月)